

総合振興計画に対する市民の意見

意見は大きく分けて次のように整理できる。

・テーマとしては、「つくる」というものがおおくみられている。条例のようなもので市の方向性を明示すること、ビジネスをつくる、地域をつくる、新しい仕組みをつくる、といった新しいものを創造していくことが多く挙げられている。また、「場」に関するものも多い。具体的な施設等に関する意見だけでなく、意見を聞く場、体験の場、自然に触れる機会といった場所についての取り組みについての言及が多くみられている。

・「市民一人ひとり」のみの文言については次のようなものがある。

生活習慣病にならない為の食生活に気をつける

子どもの生きる力をエンパワーメントするために、大人がチャンスを奪わない

地域活動に積極的になる

若者の声に耳を傾ける

より、自分たちがどう地域に関わるのか、ということがまとまっている。

誰が	何に取り組むか
“経済的に豊かな”浜田	
行政、市民一人ひとり	市民からの企業情報をもとに、行政等と誘致を図る
行政、市民一人ひとり	市民の起業を行政・団体・地域が後押しする
記載なし	市外にいる(子供や孫たち)の知識や経験を遠くにいても活かす
“働き続けられる”浜田	
行政	市議会議員の質の向上を図る
“医療・介護費が増えない工夫がある”浜田	
行政	食生活についての情報を市報、SNS 等で積極的な情報発信
市民一人ひとり	生活習慣病にならない為の食生活に気をつける

誰が	何に取り組むか
高・大学生に“暮らし続けたい”と思ってもらえる浜田	
企業や団体	給料を上げ、(家賃補助)福利厚生を良くする
行政、企業や団体	アーティストのコンサートの誘致と、若者のためにスケート場を存続
行政、企業や団体、地域、市民一人ひとり	学生の意見を聞く場を設ける
行政	市営住宅等の提供
行政、企業や団体、地域、市民一人ひとり	つながって(連携し)、高・大学生のやりたいことをサポートする体制をつくる
企業や団体	子育てしやすい仕事環境を整える
“幸せな子ども時代を過ごせる”浜田	
行政、地域、市民一人ひとり	遊びの場を保障する
行政、地域、市民一人ひとり	子どものやりたいを満たす体験の場
企業や団体、地域	子どもと過ごせる時間を増やすよう企業も努力する
行政、企業、地域、市民一人ひとり	子どもの権利条約に基づく条例を作る
行政、地域	学力向上に向けた教育の充実
市民一人ひとり	子どもの生きる力をエンパワーメントするために、大人がチャンスを奪わない
行政、地域、市民一人ひとり	自然に触れる機会を設ける、教員をはじめ地域の人たちが地域の環境をともに知る
記載なし	子どもの可能性が広がる教育をする
記載なし	一次産業を魅力的に伝える教育をする
“伝え続けるものがある”浜田	
行政、地域、市民一人ひとり	「まつり」を伝え続ける
行政、地域、市民一人ひとり	グループ(〇〇を守る会)をつくって、勉強して、まとめる
行政、地域	神楽を県外の人に魅力を伝え、有料にして、演者もやりがいを見つける。

誰が	何に取り組むか
“海山里の自然を生かした”浜田	
行政、団体、地域	耕作放棄地の活用のため、市民農園やオーナー制の拡充やコーディネート制度をつくる
企業や団体	綺麗な海を生かした観光ツアー
行政、企業や団体、地域	森の幼稚園、海の幼稚園
企業	介護予防事業への応用
行政、企業や団体	事業ごとに環境配慮基準の策定
“不便さを感じない”浜田	
企業や団体	〇〇に行きたい人やモノをマッチングしてくれるビジネスをつくる
“新たなつながりが感じられる”浜田	
行政	地域でやっているイベント・行事の情報発信
行政、企業や団体	地域活動をする団体や組織を育てる
行政、地域	ともに連携して積極的に町内会（公民館）の活動を支援する
市民一人ひとり	地域活動に積極的になる
地域	まちづくりセンターの活動（教室）を活発にする
行政	図書館の2階の活用を図る
地域	まちづくりセンター等を利用しながら、地域の交流を深め次世代のリーダーを育成しながら昔ながらのつながりを再生すること
地域	大学生、高校生と世代を超えた会話の場を作る
地域	「出過ぎた杭は打たれない！」地域をつくる
新たな浜田の魅力を“市外にアピールする”	
市民一人ひとり	若者の声に耳を傾ける
“市民の意見が寄せられやすくなる”浜田	
行政	市民の寄せた声に対し、最終的な決定のプロセスを市民にわかるようにする。
行政	市民との協働に関する主管の担当課をつくる
行政、地域、市民一人ひとり	市民の声を拾う仕組みを創る
行政、地域、市民一人ひとり	会議をオープンにし、説明を丁寧にする
その他（議会）	議会と行政のコミュニケーションをよくする

【以下結果を導くまでの過程】

【ワールドカフェ振り返り】

(豊田准教授より)

浜田市のよいところとして、夕日がきれい 海の資源 山の資源 空気がきれいといった、「自然がよい」という共通した意見があった。魅力的な歴史資源の話や人がやさしく温かいといった魅力についての意見もあり、自然・地域資源・人に関するプラスの意見が出てきた。

一方で、課題も浮かび上がってきている。自然が多いゆえの課題は耕作放棄地や草刈りの問題、社会資源も施設の老朽化、人についても、高齢化と、先ほどのプラスについては、課題となっている、という認識も共有されているようである。

プラスになっていること例えば、自然の魅力や地域資源が十分に生かし切れていないのではないかということにつながる。

検討するキーワードとしては、つぎのような点が挙げられると思う。

ひとつは、「今後の若者が住みよいまちづくり」について。大学生に、地域の課題に取り組んでもらいたい、そういう役割を担ってほしいという意見が見られた。ただ、若者の側からは、この地域が遊びたくなる、楽しい地域楽しくなれるのかという意見もある。若者世代の遊び・レジャーに魅力を感じたいという視点をどうまちづくりに取り組んでいくのか。また、働く場所についても、浜田に住みつけたいのだけど、若者にとって「魅力ある仕事とは何か」を考える必要があるようである。次に、「つながり・連携」についてである。こういう場があったらいいな、年代や世代を超える場・垣根を超えたつながりといった声がたくさん聞こえてきている。地域コーディネーターな役割を持つ人たちを通じた人と人との繋がりを求めているのではないか。地域の中だけでなく、地域の中と地域の外をつなぐ仕組みでのまちづくりにも広げることができる。

全体を通じて、自分たちがどんな地域に住みたいか、もっと自由に・楽しく・誇りをもってよりよくしていく仕組みについて今後議論を進めていければ良いと感じた。

・部門別ワークショップ

第1:

山間部の不便さや移動販売についての話。バスの減便が進み、家までタクシーが必要な人が増えてきている。タクシー代助成とかはあるけど、安くできるような支援が必要ではないか。空家等についても課題がある。

健康分野については、食育については親世代の食育が必要ではないか。がん検診無料が知られていないのも課題。高齢者の一人暮らしが増えており、繋がれるコミュニティが必要ではないか。障害をお持ちの方の社会参加についても話をした。

また、暮らしの観点では、公園が少ないこと、性教育を積極的におこない、ジェンダーについての理解がすすむことで老若男女暮らしやすくなるのではないかという意見も出た。

第3:

安全で安心して暮らせるまちに関して、防災に関しては、自主点検という切り口でコンクリート構造物の街歩きを兼ねて点検をしていくようなアイデアが出た。防犯に関連して消防団の見守りや地域で特殊詐欺撲滅の話が出た。ただ、消防団も高齢化や人口減少により平日の初期消火が厳しく、年寄りや女性でもできることをやっていく必要があるのではないか。

風力発電や景観破壊しない再エネの可能性、里山の水や水源を守ること、海外漂着物を減らして海をきれいにできないか、など。バイオマスの取り組みについても言及があった。

第5

文化とは何か？大人の文化って？という話にもなったが、まちを知ることが重要だろうということ。学校と地域については、地域みんなで教育という観点でしっかり子どもに関わるのが重要。いろんなかわりを持つために、地域の先輩に話をきくというアイデアが出た。

自分たちが楽しめるまちになり、夢を応援することで幸せな子供時代を過ごせるようにする、一人ひとりの幸せをどうプロデュースするかという観点が重要だという話になった。

第7

既存産業の活性化や企業誘致について。土地がない、いやある、という議論や、働きについての話が出た。また、浜田港をハブ港的にもっと活用できないのか、ということ。今の浜田の魅力をもっと圏外への発信する必要があるのでは、という話も出た。ヒト・モノ・カネの動きの活性化が重要ということである。

第9・11

地域振興に関しては、もっと具体的なキャッチフレーズが欲しい、ということ。イベントとしては映画上映会の企画やスケボーパークなどで地域を盛り上げていくというアイデアが出た。地域に魅力や活力がないと産業にも影響をすることから、就業できる場所を増やすべきだが、今ではリモートワークも増えているのでそういう仕組みを活用した仕事を増やしてほしい。また、現代流の自治会の活性として、SNS等を活用し回覧板以外の情報共有が必要ではないかという意見が出た。

「こんな浜田市がいいなあ」に詰まった 想い

人とのつながりを大切にする浜田がいいな！！
元気な浜田がいいなあ～！
思ったことを実現できる浜田！！
なんでも話と言える浜田がいい
もっと自由にもっとおしゃれにもっとたのしくもっと笑顔で
産業の活性化による雇用のアップ
町内の世話体制の見直しが進む
里山が多くある
魚介類のたくさん撮れる海がある
山の自然環境を保全し豊かな海を取り戻す
環境保全型農業が進む
草刈りのない浜田
外部からの人に優しい浜田
風力発電のない浜田
家賃安くバイト代が高い
まちづくり幻想にとらわれない浜田
人ごとではなく自分のこととして取り組む人が広がる私たちのまち浜田
若者があふれ活気にあふれる浜田

インフラ整備が進んでいる
魚料理がびかー
空気のきれいな(公害の少ない)
人口が増える
働くところがある
自然で遊べる
つながりがハンパナイまち
今を生きる子どもたちが幸せな子供時代を過ごせるまち
一人ひとりの自由さの向こうにある幸せが蓄積して元気な浜田に
市民の意見が寄せられやすくなり計画や事業が良くなる
若い人と高齢者が一緒にふれあうつながり
魅力あるまちづくり
海空自然の良さをアピールしていく
人と人との繋がり
対話を通じて心のつながり
教育が充実している
魅力をつアーでめぐる
メタンハイドレートで浜田港を活性化
海上自衛隊の補給施設を浜田港に
適度な規模の製造業を浜田に誘致
定年後にしごとがあつて住めるまち
医療費がかからない工夫がある
浜田城址を街のシンボルに

今日の出発点とゴール

こんな浜田市がいいなあ
(**私たち**にとって理想の浜田市)



「自身にとって」を「私たち事」に。
参加者の視点を改めて寄せてみる。

「誰が(と)」「何に」取り組むのがよいか
(**私たちが共に考えつくる**浜田市)

◆こんな浜田市がいいなあ(「私たち」にとって理想の浜田市)と、市の施策体系の関係性

